



コア通信 Vol.57

2020年
11月発行

今年も1年お世話になりました。
2020年最後の「コア通信」のお届けです。

音楽と映像を皆様にお届けする
サウンドオフィス・コアのニュースレターです。

季節にあうおすすめの1曲

11月 「銀色の道」

1966年に発売されたザ・ピーナッツとダークダックスの競作。塚田茂の歌詞を見たとき、作曲者の宮川泰は、「どこか懐かしさを覚え、少年時代を過ごした鴻之舞に重なる内容です」と語っている。2003年には鴻之舞鉱山跡地と紋別駅跡地に、同鉱山閉山30周年を記念してこの曲の歌碑が建立された。音楽の教科書にも掲載されていたこともあり、多くの学生に歌唱された。

QRコードから
演奏が聴けます



12月 「恋人たちのクリスマス」

今やクリスマスの定番曲といっても過言ではない、世界の歌姫マリア・キャリーの代表曲。昨年、楽曲発売から25年経って初めて、ビルボードチャート1位を獲得した。2011年ジャスティン・ビーバーとデュエットしたりリミックスマも記憶に新しい。1994年に放送されたドラマ「29歳のクリスマス」の主題歌にも起用され、ドラマの人気とともに日本でマリア人気も不動のものとなった。



心に響く一曲

「ギンギラギンにさりげなく/近藤真彦」

今年デビュー40周年を迎えた近藤真彦の1981年に発売された4枚目のシングル。オリコン最高1位、日本レコード大賞最優秀新人賞などを始め、数々の新人賞を受賞し、この年の年末には紅白歌合戦に初出場を果たした。「ギンギラギンにさりげなく」という解釈が難しいタイトル通り、歌詞の中にも「さめたしぐさで熱く見ろ」「涙残して笑いなよ」など思春期独特の複雑な感情が見て取れる。昭和のヒットメーカーとして知られ、惜しくも10月に亡くなった筒美京平が生み出したシンプルかつ派手なメロディーは、近藤真彦の楽曲のカラオケ歌唱ランキング1位であり、イントロから盛り上がる1曲として定番になっている。

♪ギンギラギンにさりげなく そいつが俺のやり方
ギンギラギンにさりげなく さりげなく 生きるだけさ

(日本音楽著作権協会(出)許諾 第2008527-001)

トピックス：かたらい葬® (登録番号6183153号)

～ご会葬の皆様と作り上げる温かいお見送りの形～



数年前までは、ご葬儀で音楽をかけたり、生演奏を行うのは、芸能人や社葬などの大きなご葬儀でしたが、今では一般のお客様から「音楽葬」「自由葬」といった“無宗教葬”の事前相談が増えています。

今年はコロナ禍で、遠方からご親戚やご友人を呼ぶことが出来ず、お身内だけでご葬儀を行うご家族も多かったようですが、**少人数だからこそ、温かいお見送り**を希望されているご家族が増えています。

大切な方と過ごした思い出の日々のお写真をスライドショーで上映し、司会者が中心となり、在りし日の故人様を皆様と語り合いながら、式を進めてまいります。

お打ち合わせは、**対面からリモート**までご希望の形をお知らせください！



生演奏で故人様思い出の曲『赤とんぼ』を弾いた際、「学校で喧嘩をして泣きべそをかいた弟の手を引きながら、帰り道で歌った曲よ」等、**ご姉弟しか知りえない故人様のエピソードを聞くことが出来るのも「かたらい葬」**ならではのサービスです。ご自身が元気な内に、とっておきのお写真を選ばれている方もいらっしゃいます。

お打ち合わせから、式の進行まで、どんなことでもサウンドオフィス・コアにお問合せください。

かたらい葬®CM動画も公開中

♪ 編集後記 ♪

今年もコア通信を最後までお読みいただき、ありがとうございました。2020年は誰もが予想だにしない激動の年となりましたが、コアのプレイヤーは、離れていても、誰もがパソコンやスマホを使い、リモートで会議や打ち合わせが出来るようになりました。来年は、葬儀や婚礼での音楽のお打合せ、オンラインレッスンもさらに活性化させ、「**音楽の困りごとはコアに!**」を合言葉にみなさんのお役に立てるよう、精進してまいります！
♪きんぎょ

急なご依頼にもまごころこめて対応いたします。
音楽・映像のことなら、迅速対応の

サウンドオフィス・コア

〒202-0012 東京都西東京市東町3-13-21
クレストコート保谷403
TEL:042-421-7150 FAX:042-422-0894
HPアドレス: <http://www.so-koa.jp>

